


ふりがな 氏名	よこじ ふみとし	都道府県	愛知県	
	横字 史年			
所属/肩書	東京大学教養学部初年次長期自主活動プログラム 採用生			
私のESD活動	常に次世代とかかわる活動で、未来を切り開く強さと 好奇心を持つ人材育成する			
ESD活動を 表すキーワード	学ぶ	驚く	伝える	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

愛知県新城市という過疎化の進む地元になんとか若者の活力で元気を取り戻せないかということから始まった「新城ユースの会」にかかわってきた私たちは、ようやく新城市議会の可決により青年からなる「若者議会条例」の施行をもって、本格的にこどもへの教育と若者に住みやすい街づくりとを実践することができるようになりました。そこに至るまでには困難も多かったのですが、特に2014年、新城市の姉妹都市10数か国の首長級が集まりチェコ共和国・ノヴェフラディ市で開催された「世界ニューカッスルアライアンス会議」へ青年部として同行し、海外の同年代の青年議会の目覚ましい活躍を目のあたりにして、条例可決への勢いが増した結果すばらしい成果として妥結したのは非常に大きなことだと思っています。

現在は拠点を東京にも広げ、「NPO 法人 宮城復興支援センター」の主催することもイングリッシュキャンプにおいて、ボランティアとして野外キャンプ活動を通じて被災して傷ついた子供たちの心のケアを行っています。被災地での学習支援活動のアイデアをもとにした、自身の幼少から小中高時代のつらい体験をいかして、東京大学学生有志による、経済的に恵まれない家庭を中心とした学習支援および低価格での家庭教師活動、独自の思春期における教育や子育ての相談サポートなどもそろそろ実現しそうです。

また、東京大学独自の「初年次長期自主活動プログラム」採用者五名のうちの一人として、一年間の特別休学期間を利用し、戦後70年の節目に戦争体験を風化させない活動を行っています。今年末にはムービーやSNSを駆使して私の取材の集大成を発信し、母校や地元を中心に多数の講演会を行って子供たちに「過去と今」を考えてもらう予定です。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

自身のライフワークである「戦争記憶の風化を防ぐ」ためにも、大学生らしい革新的な切り口や語り方を工夫し、有効的に小中高校生に興味をもらってもらい、昨年から続く私の個人的なESDテーマである「ESD活動自体を持続する」方法の実践として、やがてその子供たちが私の講演や発信をきっかけとして、自発的に戦争や政治などについて深く考えてくれたらなと思っています。そして同時に、私の実体験から、経済的に余裕のない子供たちへも適切な教育（もしくは塾に行かなくても勉強ができるようになる、興味を持ってくれる）支援や親御さんたちの苦悩の理解とサポートができるよう、組織の拡充を進めたいので、そういったノウハウをぜひ今回のコンファレンスで学ぼうと考えています。